

Space Designer検定試験 2023年度 試験問題

宿場町に建つ古民家カフェ

配布された資料と3次元データ・テクスチャ画像などをもとに、図に示された土間・連子の間・囲炉裏の間・厨房に関わる3次元モデルを作成し、下記に指定されたパース画像の作成、および提案書の作成を行うこと。

★提出ファイルについて

◎パース画像（基礎課題、応用課題共通事項）

ファイル形式：JPEGファイル(ファイルサイズ 各5Mバイト以下)

アスペクト(縦横)比：自由(作画の意図による)

画像：見栄えを考慮し、受験者の判断により色およびサイズを調整すること。

カラー：24ビットカラー(1,677万色)／RGB

◎提案書（応用課題）

ファイル形式：PDFファイル

用紙サイズ：A3(横長)1枚

※採点評価はすべて紙出力ではなくモニター画像での目視による

●基礎課題 パース画像の作成 画像データ4点

配布資料の指示に従って土間・連子の間・囲炉裏の間・厨房に関わるモデリングを行い、指定の家具・造作(囲炉裏テーブル、厨房仕切りパネルとカウンター、飾り棚、戸棚、照明器具、連子、座布団など)を配置すること。

ただし、仕切りパネル、カウンターで見えない厨房設備に関してはモデリングしなくても良い。テクスチャや光源を指示に従って設定し、平面図「①～④」の矢印で示すパース画像を作成しなさい。

視点の高さ、仰俯角、画角＝レンズ焦点距離の設定などは、指示された空間を最適に表現出来るよう受験者が判断すること。

場所は中部地方とし、時刻は春分の日の10時前後で晴天の日を想定すること。太陽光の入射角を推測し、光源の状態がわかるよう、照明器具配置図に指示された全ての照明器具を配置し、点灯された状態を表現すること。

①厨房脇通路出入口から囲炉裏の間、連子の間を見たパース画像(パース画像番号1)

概ね矢印①に示す方向から見た囲炉裏の間、連子の間

囲炉裏の間の吹抜け、屋根裏の垂木、丸太梁、ペンダント照明、2階板の間の障子、2階に上がる階段、式台、ブラケットが表現されていること。

②連子の間から囲炉裏の間、厨房を見たパース画像(パース画像番号2)

概ね矢印②に示す方向から見た囲炉裏の間、厨房及びその小屋組み

囲炉裏の間の吹抜け、屋根裏の垂木、丸太梁、座敷に入る建具、囲炉裏テーブル、座布団、厨房の仕切りパネル、カウンター、戸棚、障子窓などが表現されていること。

③囲炉裏の間から連子の間、土間を見たパース画像(パース画像番号3)

概ね矢印③に示す方向から見た連子の間、土間

囲炉裏の間の吹抜けの一部、土間の飾り棚(板張り割付基点)、梁付スポットライト、玄関引き違い戸、連子間のガラス戸を通して連子が表現されていることと、指定日時の日差しなどが表現されていること。

④土間入口付近から囲炉裏の間と厨房を見たパース画像(パース画像番号4)

概ね矢印④に示す方向から見た囲炉裏の間と厨房

囲炉裏の間、階段裏、連子の間・土間の天井小梁、スポットライト、ダウンシーリング、床板割付基点、厨房カウンターなどが表現されていること。

■基礎課題 提出物

ファイル名：1～4のパース画像番号(半角)

上記パース画像4点を、1つのフォルダ(フォルダ名：A 半角とする)に入れ、ZIP形式で保存し、「マイページ」にアップロードすること。

※この課題においては、椅子などの家具、インテリア小物、グリーン、アート、その他添景等、受験者の判断によると指示のある家具などは配置しないものとする。

●応用課題 完成パース画像1点（基礎課題 ①の角度で作成した完成パース） 提案書作成(空間コンセプトをまとめたもの)

基礎課題で作成した3次元モデルをもとに、インテリアエレメントおよび添景をCADソフトまたは画像処理ソフトにより付加し、インテリアイメージとしてパース画像を完成させる。完成させたパース画像とともに、デザインコンセプトやイメージカラーなどをまとめ、提案書を作成すること。

I. パース画像の作成

矢印①で示した角度の完成パース画像を必ず作成し、ファイル名：11として提出すること。

下記に示す「インテリア提案の背景」「インテリアコーディネーターからの要望事項」から、古民家カフェのイメージに合うテーブル、椅子などの家具、インテリア小物、グリーン、アートとともに、人物等の添景を配置すること。

指定のない部分に関しては、形状、サイズ、個数、色、材質その他も受験者の判断による。

II. 提案書の作成

Iで作成したパース画像を中心に、イメージ画像、コンセプト、メッセージ、イメージカラー、使用したエレメント、メニューなどをバランスよくレイアウトして提案書を作成すること。それ以外に受験者がインテリアを表現するのにふさわしいと判断した角度で2点以上のパース画像を作成し、合わせて3～5点のパース画像を提案書に入れること。受験者の判断で、時刻などを想定して光の演出をしてもよい。

基礎課題で指示された以外の角度でパース画像を作成してレイアウトしてもよい。

デザインコンセプトに合ったタイトルデザイン、フォントおよびフォントサイズを使用すること。

■インテリア提案の背景

歴史的背景を持つ宿場町ですが、近年、住民の流出に伴い高齢化が進み空き家も目立つようになってきました。地域の活性化を目的として活動しているNPO法人が、歴史ある空き家をリノベーションし、古民家カフェとして活用することを企画しています。この宿場町にふさわしい町家の再生・活用のモデルケースとするとともに、この地域の文化を継承する拠点となる建物にしたいと考えています。

カフェとして必要な厨房廻りは、現代的な素材を取り入れるとともに機能的なものにしたいと考えていますが、入り口の土間、客席となる連子の間・囲炉裏の間は出来るだけ歴史ある町家の雰囲気そのままに残したいとのご希望です。2階板の間はスタッフ専用とし、座敷の間はイベントや貸し切り予約のみの使用を考えているとのことで、連子の間・囲炉裏の間を中心としたプレゼンテーションを行いたいと考えています。

■インテリアコーディネーターからの要望事項

・床、柱、板張りなど暗い色調が多くなるため、出来るだけ明るい雰囲気になるよう心掛けてほしい。

・街並みの景観を保つと共に、室内からガラス戸越しに見える連子を表現してほしい。

・客席として15席以上を確保し、古民家にふさわしいテーブルなどを提案してほしい。

・板張りの壁や飾り棚は、地域の工芸作家の作品や地域の写真や絵を飾り、建物全体をアートギャラリーとしたい。

・古民家にふさわしい、年代を感じさせる家具や小物を選択してほしい。

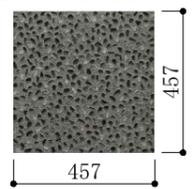
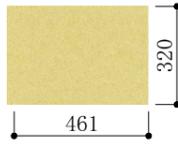
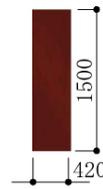
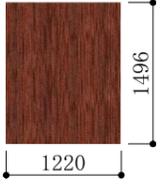
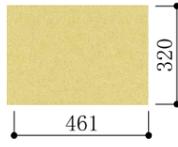
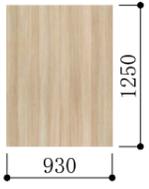
・日本家屋の特徴である丸太梁のある小屋組みを表現してほしい。

■応用課題 提出物

パース画像 ファイル名：11(半角)

提案書 ファイル名：12(半角)(ファイルサイズ 30Mバイト以下)

パース画像と提案書を、1つのフォルダ(フォルダ名：B 半角とする)に入れ、ZIP形式で保存し、「マイページ」にアップロードすること。

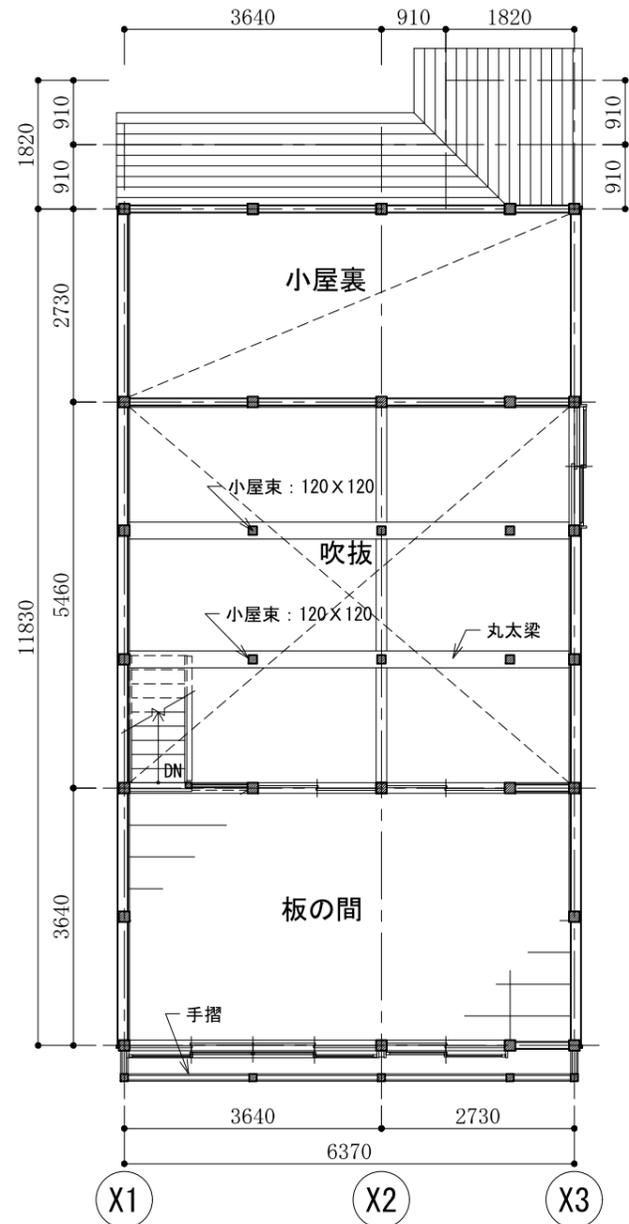
内部仕上表						
室名	床	巾木	壁	天井	天井高	備考
土間・厨房	玉砂利洗い出し	土台	土壁 板張りA(420×1800) 板張りB(420×1500)	土間部分：板張り(450×1800加工) 厨房 吹き抜け部分：板張り(屋根裏)	2550～約6800	柱・梁・母屋・垂木 画像ファイル名：wood.jpg 仕上げ：半光沢程度  式台 画像ファイル名：wood_floor.jpg  飾り棚 扉等 画像ファイル名：wood_D.jpg 仕上げ：半光沢程度  飾り棚 甲板：木製 塗装黒 半光沢程度 画像なし
	玉砂利 画像ファイル名：stone.jpg 仕上：半光沢程度  (画像提供：株式会社サンゲツ)		受験者の判断による。	土壁 画像ファイル名：clay.jpg  (画像提供：株式会社サンゲツ) 板張りA 半光沢程度 画像ファイル名：wood_A.jpg  板張りB 半光沢程度 画像ファイル名：wood_B.jpg 		
連子の間・囲炉裏の間	板張り(450×1800加工)	なし	土壁 板張りA(420×1800)	連子の間：板張り(450×1800加工) 囲炉裏の間 吹き抜け部分：板張り(屋根裏)	2250～約6500	座敷 框建具 板材 画像ファイル名：wood_D.jpg 仕上げ：半光沢程度  (画像提供：株式会社サンゲツ) 座敷 框建具 框および棧 塗装黒 半光沢程度  座敷建具イメージ
	板張り 半光沢程度 画像ファイル名：wood_floor.jpg 		土壁 画像ファイル名：clay.jpg  (画像提供：株式会社サンゲツ) 板張りA 半光沢程度 画像ファイル名：wood_A.jpg 	連子の間：板張り(2階床板) 半光沢程度 画像ファイル名：wood_floor.jpg  囲炉裏の間 吹き抜け部分：板張り 半光沢程度 画像ファイル名：wood_C.jpg  (画像提供：株式会社サンゲツ)		

その他 注意事項	
外部建具	土間玄関建具の色・素材については受験者の判断によるものとする。ガラスの表現は、受験者の判断によるものとするが、連子の間のガラス戸については、外部の連子が表現できるようにすること。厨房の障子外側には引き違いサッシがあるものとし、障子のみを表現すること。障子のサイズは、インテリア立・断面図の表示に従うこと。
内部建具	座敷の4枚立ち2本引き框戸は、配布データモデルを使用するものとし、読込めない場合は、ソフトに登録されているシンボルなどを編集、またはモデリングして、同じイメージになるよう作成すること。 障子のサイズは、インテリア立・断面図の表示に従うこととし、色・素材については受験者の判断によるものとする。 通路、2階板の間にある片引き戸のデザイン、および、色・素材については受験者の判断によるものとする。
造作材	建具枠材、鴨居、付け鴨居、マグサ、窓台、土台、框などの造作材の素材については、受験者の判断によるものとする。 飾り棚、棚、戸棚の扉のデザインは、受験者の判断に依るものとする。 丸太梁については、配布データを読み、図面の位置に配置すること、データが読み込めない場合にはモデリングして同じイメージになるよう作成すること。

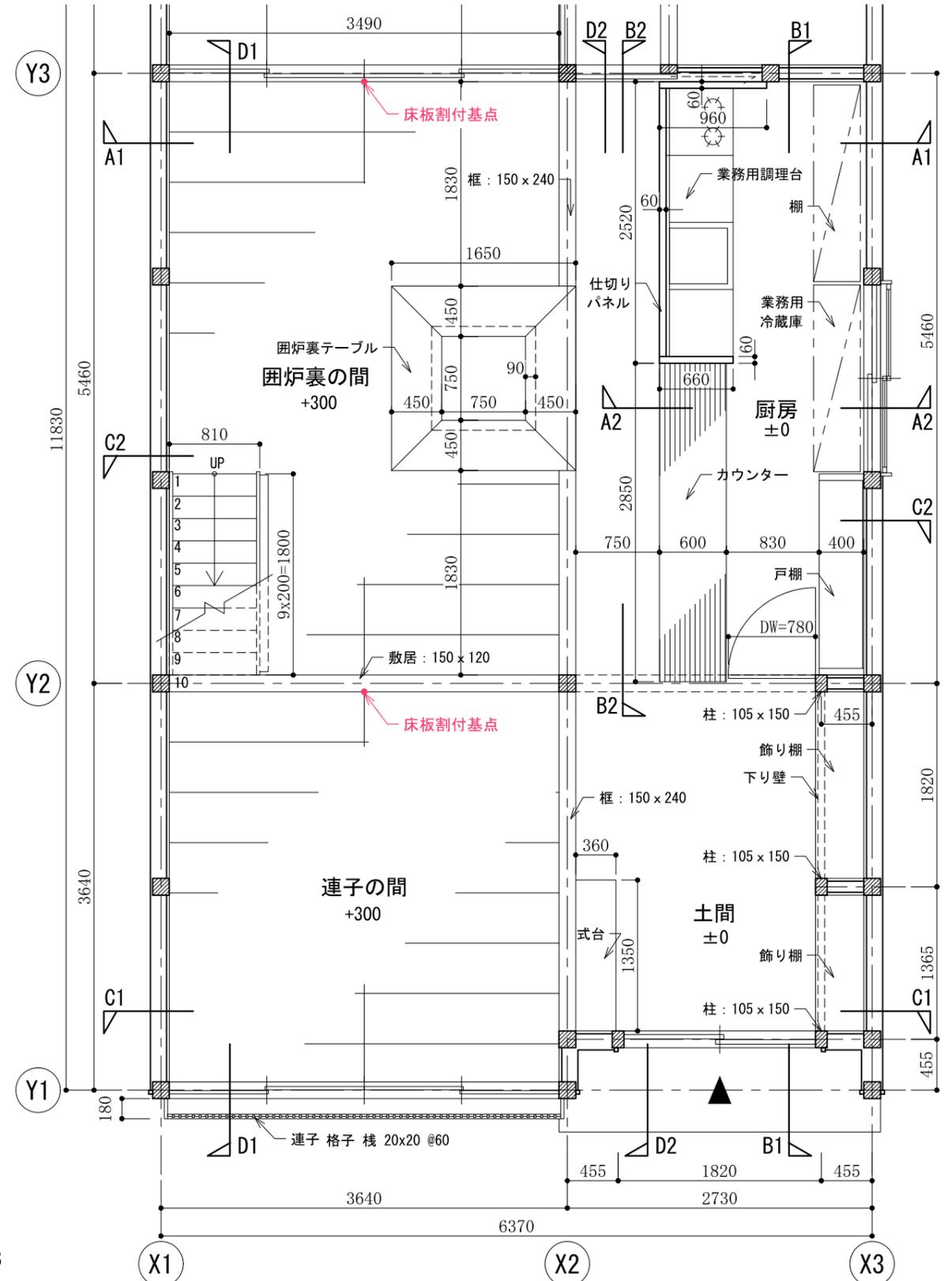


1階平面図 縮尺 1 : 100

矢印と番号は、パースを作成する際のアングルを指示するもの

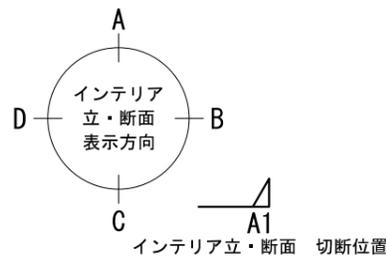
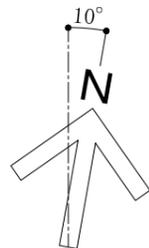


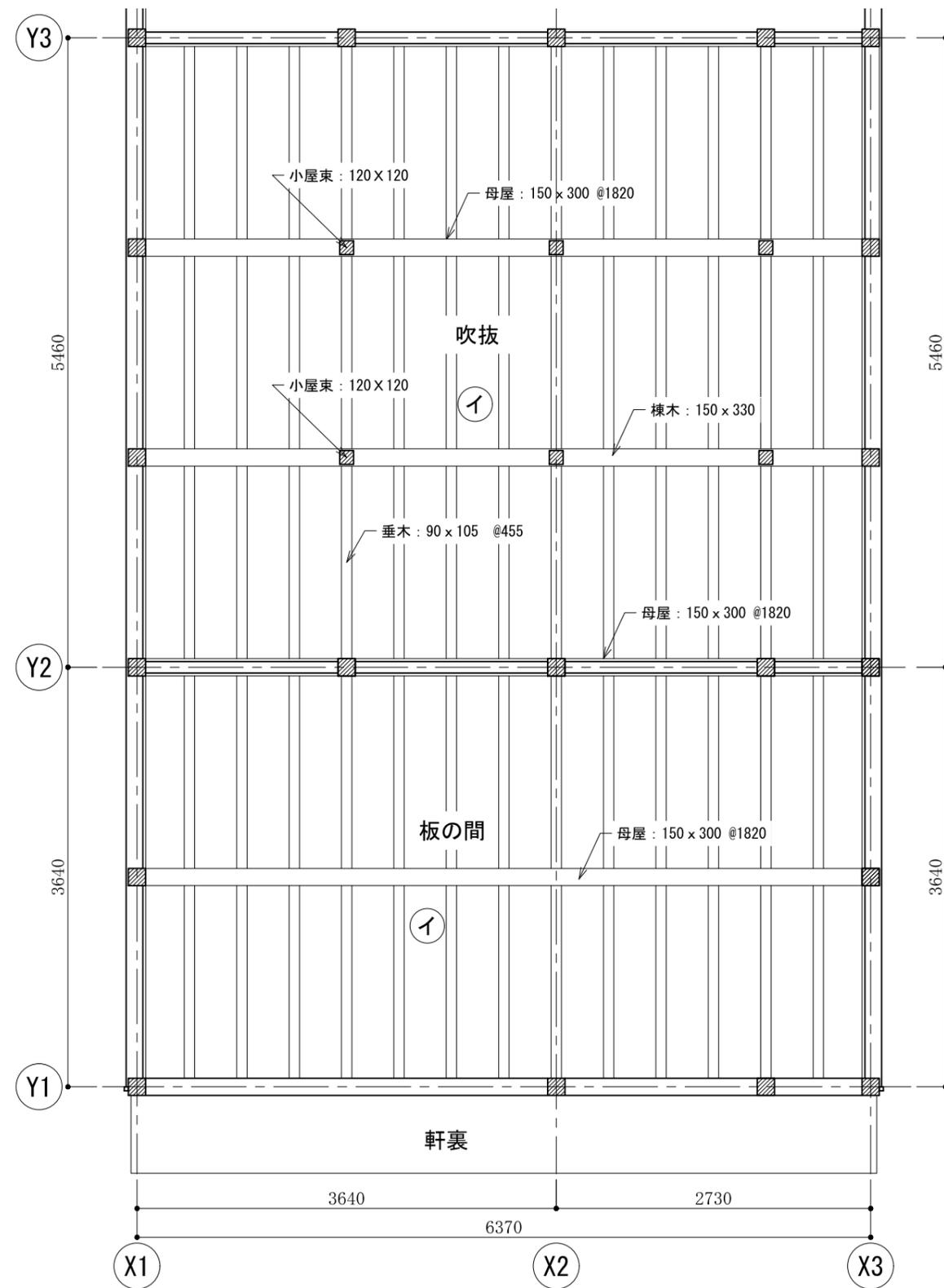
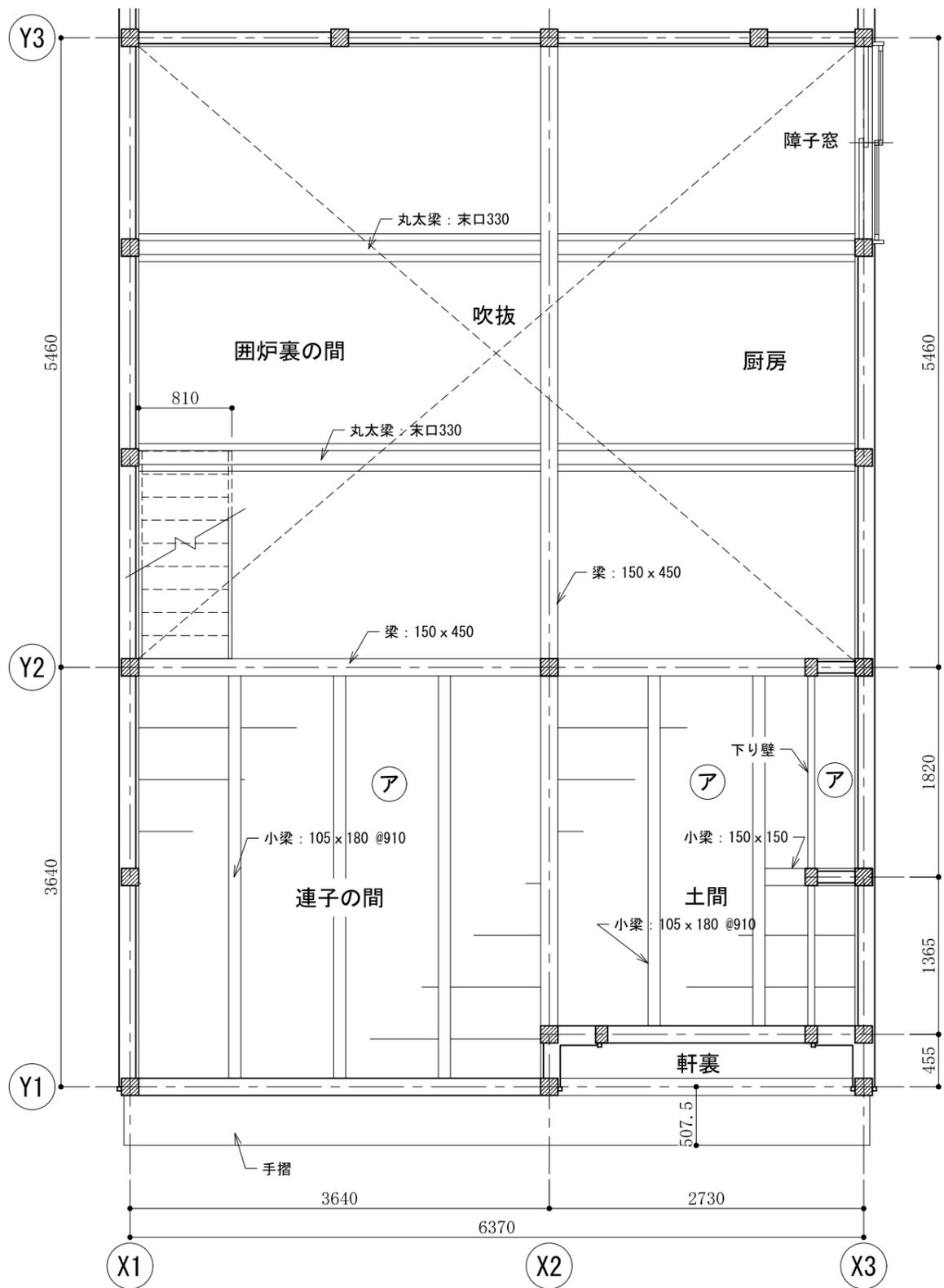
2階平面図 縮尺 1 : 100



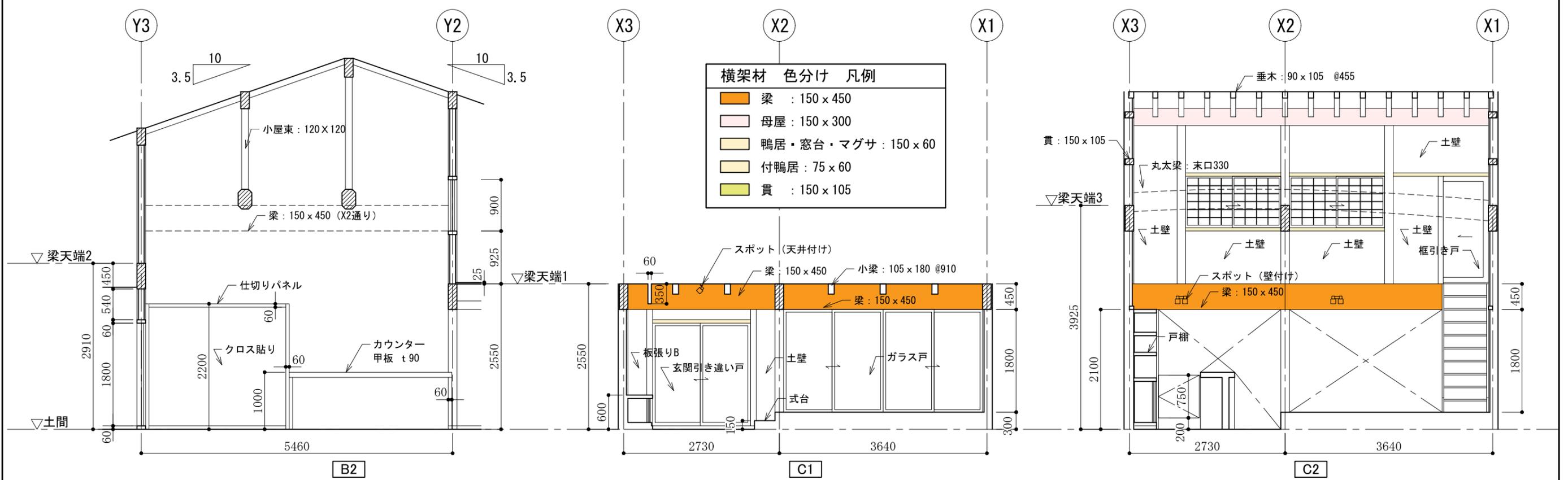
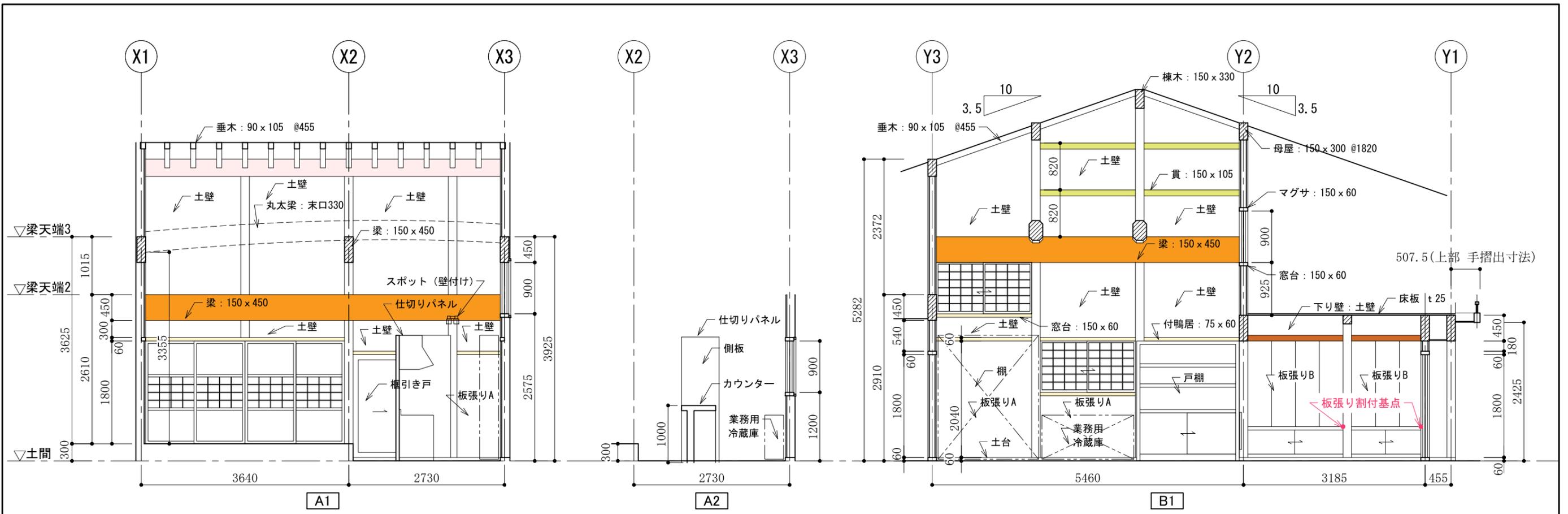
平面詳細図 縮尺 1 : 50

注1：特記なき柱のサイズは150×150とし、1820または910の間隔に配置している。



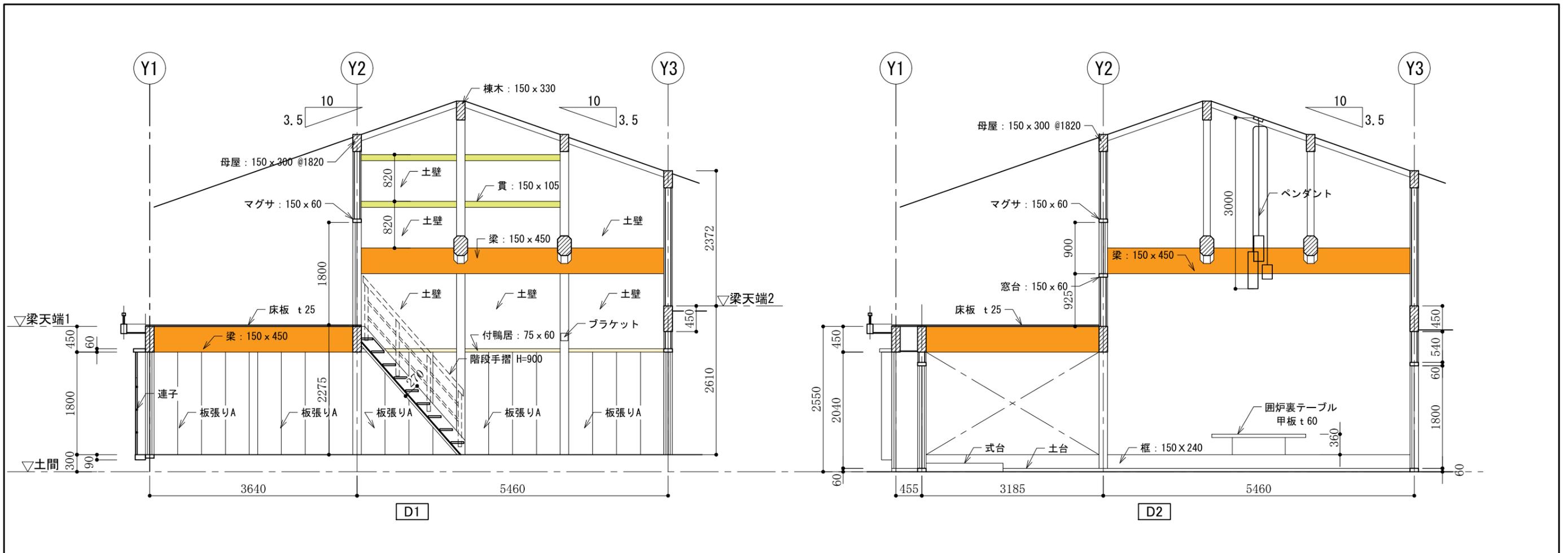


天井仕上 凡例	
ア	板張り(2階床板)
イ	板張り



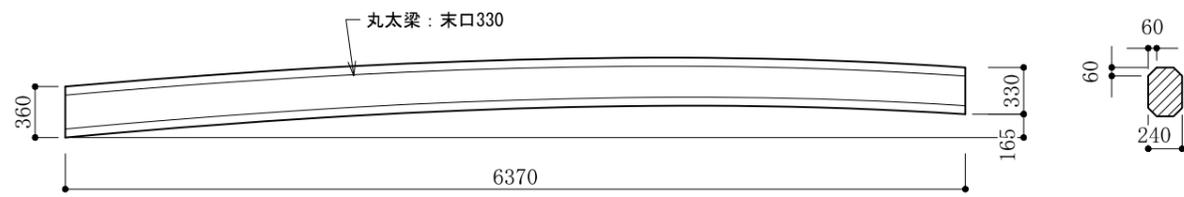
横架材 色分け 凡例	
	梁 : 150 x 450
	母屋 : 150 x 300
	鴨居・窓台・マグサ : 150 x 60
	貫 : 150 x 105

注2: 鴨居、窓台、マグサのサイズは、150 x 60とする。



丸太梁 詳細図 (注3)

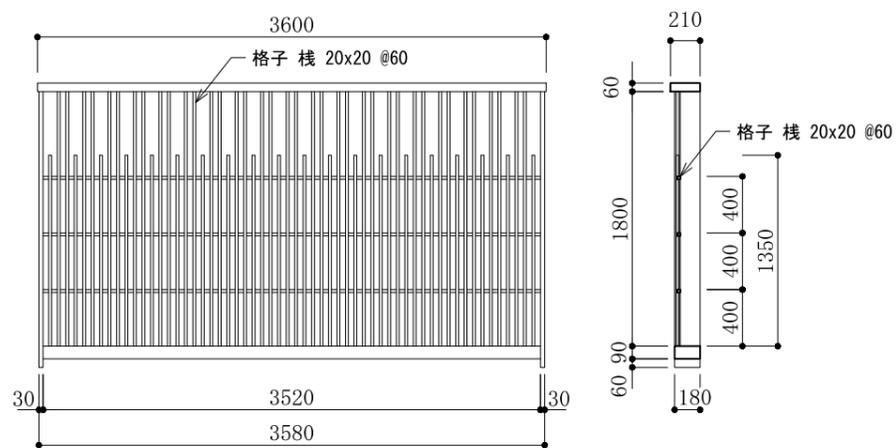
縮尺 1 : 50



注3 : 配布データを読み込むこと
読み込めない場合は、ソフトに登録されているシンボルなどを編集、
またはモデリングして、同じイメージになるよう作成すること

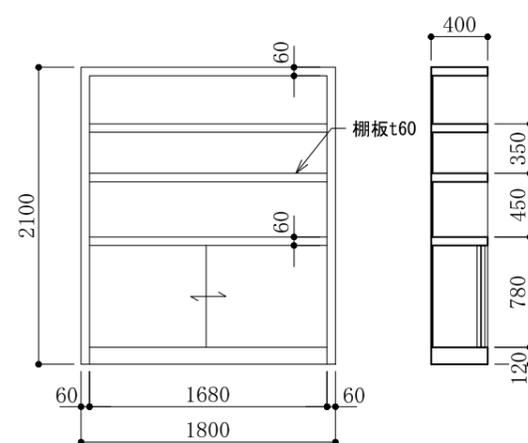
連子 詳細図 (注3)

縮尺 1 : 50



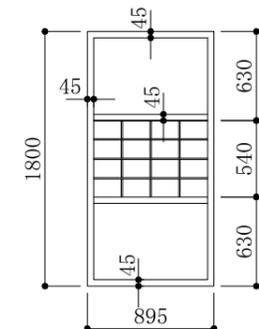
戸棚 詳細図 (注3)

縮尺 1 : 50

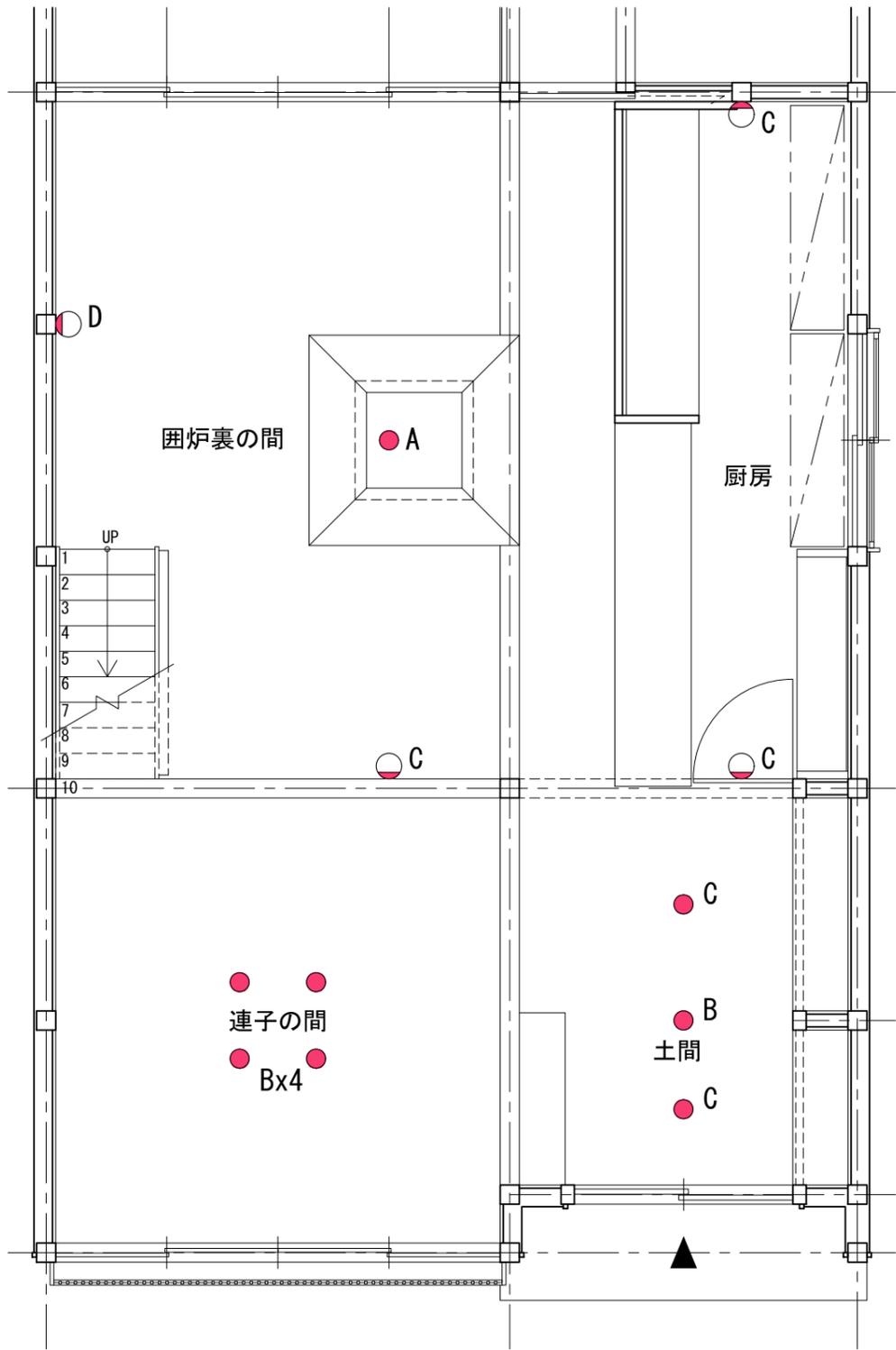


座敷 框建具 詳細図 (注3)

縮尺 1 : 50



建具見込 : 35

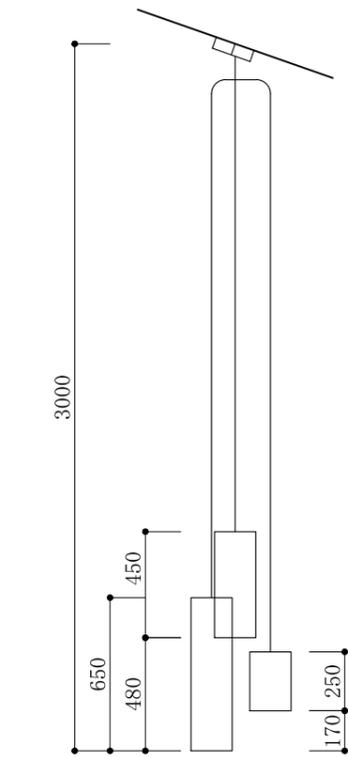


照明器具配置図 縮尺 1 : 50

注：照明器具の詳細な設置位置寸法は指定しないので、概ね図面と同じ位置になるよう配置すること。

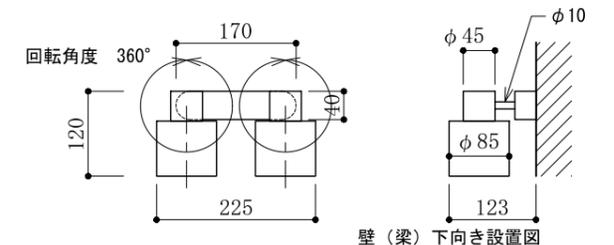
照明器具 凡例	
A	ペンダントライト 姿図参照
B	ダウンシーリング 姿図参照
C	スポットライト 姿図参照
D	ブラケットライト 姿図参照

A ペンダントライト (注4)
 セード：アクリル樹脂（乳白つや消し）
 コード：黒
 テクスチャ用 提供画像ファイルなし
 サイズ：□175 H650 450 250
 全体高さ3000

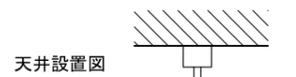


A ペンダントライト 参考寸法図

B ダウンシーリング (注4)
 セード：陶器（外面黒鉄釉・内面白）
 テクスチャ用 提供画像ファイルなし
 サイズ：φ114・高さ137



壁（梁）下向き設置図



天井設置図

首振り角度 最大 92°

C スポットライト 参考寸法図

C スポットライト (注4)
 セード：プラスチック（黒）
 テクスチャ用 提供画像ファイルなし
 サイズ：幅225・高さ120・出しろ123
 照射方向可動型 壁面・天井面取り付け可動
 壁面取り付けの場合、概ねインテリア立・断面図に
 表示されている高さに合わせて配置すること。
 ライトの向きは、受験者の判断によるものとする。

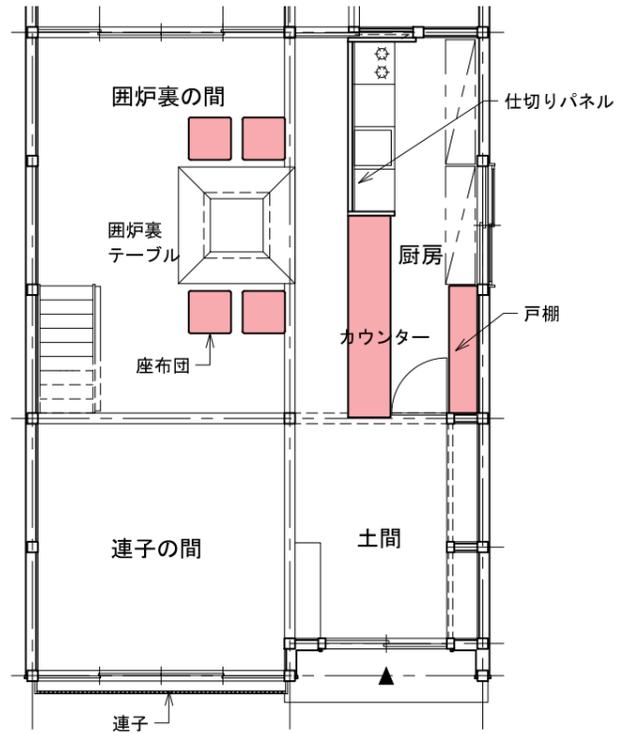


D ブラケットライト (注4)
 セード：強化和紙張り
 フレーム：木製（ダークブラウン）
 テクスチャ用 提供画像ファイルなし
 サイズ：幅130・高さ130・出しろ130
 ブラケットライトは、下端FL+2000に配置すること。



画像提供：パナソニック株式会社

注4：姿図を参考にモデリングを行うか、使用しているソフトに登録されているシンボルを使用して、同じイメージになるよう作成すること。イメージ画像に近い雰囲気となるようテクスチャを付加し、光源を設定すること。



インテリアエレメント プロット図 縮尺 1:100

エクステリア エレメント 連子

連子 (注3)
 枠・棧: 木製
 画像ファイル名: wood.jpg
 仕上げ: 半光沢程度

(画像提供: 株式会社サンゲツ)

<p style="text-align: center;">囲炉裏テーブル</p> <p>囲炉裏テーブル 甲板: 木製(半光沢程度) 画像ファイル名: wood_E.jpg 平面詳細図 インテリア立・断面図のサイズ表示に従うこと。 画像ファイル名: wood_E.jpg</p> <p style="text-align: center;">(画像提供: 株式会社サンゲツ)</p>	<p style="text-align: center;">厨房 仕切りパネル・カウンター</p> <p>仕切りパネル・カウンター 側板・枠・扉: 木製(半光沢程度) 黒塗装 画像ファイルなし 甲板: 木製 画像ファイル名: wood_E.jpg 囲炉裏の間側パネル: クロス貼 画像ファイル名: wp.jpg 平面詳細図 インテリア立・断面図のサイズ表示に従うこと。 画像ファイル名: wood_E.jpg</p> <p style="text-align: center;">(画像提供: 株式会社サンゲツ)</p>	<p style="text-align: center;">戸棚</p> <p>戸棚 (注3) 戸棚 扉等 画像ファイル名: wood_D.jpg 仕上げ: 半光沢程度 画像ファイル名: : wood_D.jpg</p> <p style="text-align: center;">(画像提供: 株式会社サンゲツ)</p>
<p style="text-align: center;">階段</p> <p>階段 (注3) ササrah 桁・段板・手摺 : 木製 画像ファイル名: wood.jpg 画像ファイル名: wood.jpg</p> <p style="text-align: center;">(画像提供: 株式会社サンゲツ)</p>	<p style="text-align: center;">座布団</p> <p>座布団 (注3) 座布団: 布製 画像ファイル名: cloth.jpg W=600 D=600 画像ファイル名: cloth.jpg</p>	<p style="text-align: center;">その他</p> <p>応用課題提出の際には下記の家具等を配置すること。 テーブル、椅子などの古民家カフェに必要な家具。 受験者の判断により、調理器具、食器、調度品、古民具、陶磁器、絵画、植物など、使用目的を考慮し、各自作成するか各種モデルデータを読み込んで配置すること。</p> <p>注3: 配布データを読み込むこと 読み込めない場合は、ソフトに登録されているシンボルなどを編集、またはモデリングして、同じイメージになるよう作成すること</p>